

## 救急搬送における救命率向上のためのICTを活用した新医療体制の提案



山口大学  
山中 雄城さん

院（大病院）は、本来診るべき重傷患者以外の軽症患者の対応に追われていく。そうした重症であるにもかかわらず、3回以上も医療機関に受け入れを断られているケースがある。受け入れできない理由の一つが、このような軽症患者への対応に追われていることである。

こうした現状を打破するために考えたのが、既存医療資源、特に中小クリニックの活用だ。「大病院にこれら中小医療機関を含めた医療機関と救急搬送センターを641施設に導入する救急搬送支援システム」と呼ばれる小さな医療機関の数は全国で1万2400施設にもあり、実に半数を軽症患者が占めているという現状がある。救急告示病

## テクノロジー部門

現在、中小クリニックや診療所では救急搬送のために考えたのが、既存医療資源、特に中小クリニックの活用だ。「大病院にこれら中小医療機関を含めた医療機関と救急搬送センターを641施設に導入する救急搬送支援システム」と呼ばれる小さな医療機関の数は全国で1万2400施設にもあり、実に半数を軽症患者が占めているという現状がある。救急告示病

## 中国経済連合会 会長賞

こうした診療所で行うことにより、大規模医療機関は本来診るべき重傷患者を診ることができ、結果助かる命が増えるだろうと考えた。

既存の救急医療体制の枠組みを超え、地域の中小医療機関を救急搬送先として組み込み、それら中小医療機関にとっても新しい患者の獲得にもなるという点に新規性がある。

クラウド環境のアプリケーションには、医療機関における当直体制の情報や重症度判定基準、搬送先医療機関リストなどを盛り込み、各所が最新の情報を入力することで、救急車、医療機関双方が、必要な情報を照会できるようにする。このシステムを用いて、救急搬送業務の評価や改善策を随時検討することができると考えた。

## 最優秀賞 2件

### ビジネス部門



広島大学大学院  
伊達 文香さん

する行程で、途上国の女性が積極的に働くための仕組みをつくる。具体的には従来の先進国から途上国への一方的な商品の発注ではなく、服を通してコミュニケーションを重視し、二つの生産ラインを設ける。

ラインAは途上国で服の制作に携わった全てのスタッフの名前を記載したタグを服に添える。日本の顧客からはその服に対するフィードバックを返す。直接作り手のもとへ服作りに対する希望や思いを書いてもらう。

ラインBではオーダーメイドによって服作りを行う。生産国の特徴的な生地や色などを掲載したサンプルカタログの中から、日本の顧客の希望を

## 中国経済連合会 会長賞

このように日本の顧客と途上国の作り手が共に一つの服を完成させるためのコミュニケーションを生むことで、顧客に長く愛用して頂ける服作りと、作り手である途上国の女性の励みや自立が達成できるのではないかと考えた。

## 途上国の手仕事とファッションショー で目指す女性の自立（Based on） 自分の力で作る服と未来

「ファッションを通じて、途上国の女性の自立のサポートを行う」の目的に記述する。途上国と販売市場である日本との間に、服作りを通してコミュニケーションを提供するソーシャル・ビジネスだ。

途上国独自のものづくりの技術を生かして、より品質の高い服をデザイン、制作、発表、販売から、日本の顧客の希望を

## エネルギー中国電力賞



広島大学  
北村 拓也さん

「猫と学ぶ将棋の定跡は、「将棋の定跡」を分かりやすく勉強できる将棋学習アプリケーション。将棋の定跡とはお互いが最善と考えられる手を行った場合の一連の手のこと。将棋が強くするための定跡を、また反復もつづらなければならない。定跡を覚える必要がある。定跡に関する解説なども出ているが「5四歩」プリでは視覚的に定跡を「6二銀」など文字で書ける。画面にマスコット

## テクノロジー部門

「猫と学ぶ将棋の定跡は、「将棋の定跡」を分かりやすく勉強できる将棋学習アプリケーション。将棋の定跡とはお互いが最善と考えられる手を行った場合の一連の手のこと。将棋が強くするための定跡を、また反復もつづらなければならない。定跡を覚える必要がある。定跡に関する解説なども出ているが「5四歩」プリでは視覚的に定跡を「6二銀」など文字で書ける。画面にマスコット

## 広島ガス賞



広島工業大学  
尾坂 甚伍さん  
寺尾 大輔さん  
谷本 和貴さん  
石井 広志さん

## イメージフィット、マイ3Dモデルでどんな服でも試着

マイクログローブの Kinect（キネクト）によって自分自身の立体モデルを作成できることに着目し、このテクノロジーで新しいショッピングの形を作れるのではないかと考え、スマートフォン上で自分自身をどの角度からでも自由に着せ替えてみるアプリケーションを考案。大の利点である3Dモデル

## ビジネス部門

## ツネインシパートナーズ賞



岡山大学大学院  
真鍋 友希さん  
浅野 友也さん  
高石 晃希さん  
林 祐矢さん

## 自動精算かごシステム

レジの混雑緩和を目的とした自動精算かごシステムを提案する。買い物の合計金額を買い物かごによって行う仕組みだ。

各商品にタグシールを取り付け、買い物かごに商品を入れるとセンサーが感知し計算する。買い物の合計金額を買い物かごによって行う仕組みだ。

物中は買い物かごにスマートフォンを接続できる。レジに商品を投入すると、どの商品を買ったか、小計はいくらか、商品を入れるとセンサーが感知し計算する。買い物の合計金額を買い物かごによって行う仕組みだ。

## テクノロジー部門



炎はエネルギーだ。  
活力をつくるエネルギーだ。  
食をまかない、  
暖をつくり、  
人は生きる力をチャージする。  
火をおこすこと、  
それは前へふみだすこと。  
さあ、一日が始まる。  
今日もまた炎が時代を動かすだろう。



Go Forward